プロジェクター1 利用案内

・EB-S02 取扱説明書

・EB-S12 取扱説明書

・EB-W7 取扱説明書

プロジェクターの**品番の選択**はできません。予めご了承下さい。

「かんたん操作ガイド」についてはプロジェクター付近に設置しております。当日お困りのことがありましたらご参照下さい。

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EPSON
EXCEED YOUR VISION

EB-S02

かんたん操作ガイド

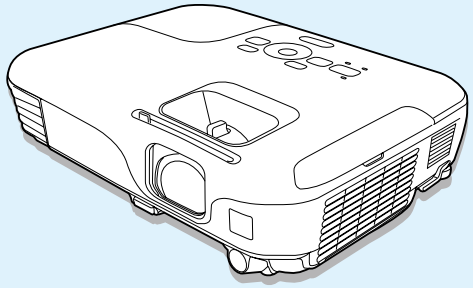
3LCD

本書では、本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を説明しています。

412119200

本書の流れ

- 同梱品を確認する
  本製品のマニュアルについて
- コンピューターと接続して投写する
- 映像を補正する
- 映像機器と接続する
- インジケーターの見方



同梱品を確認する

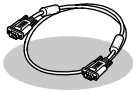
プロジェクター本体

リモコン

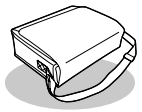
単３型マンガン電池

電源ケーブル
（日本国内専用）約 1.8m

コンピューターケーブル
約 1.8m



ソフトキャリングケース



・お客様情報
　＋正式保証書発行カード
・返信用封筒

本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。

冊子（紙）のマニュアル

『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。
お使いいただく前に必ずご覧ください。

『かんたん操作ガイド』（本書）

本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を記載しています。

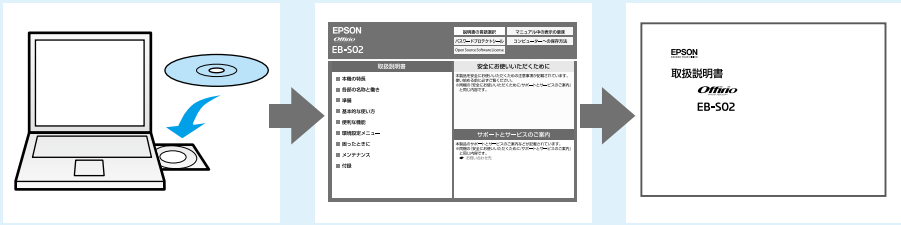
より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

CD 収納のマニュアル

『取扱説明書』（PDF）

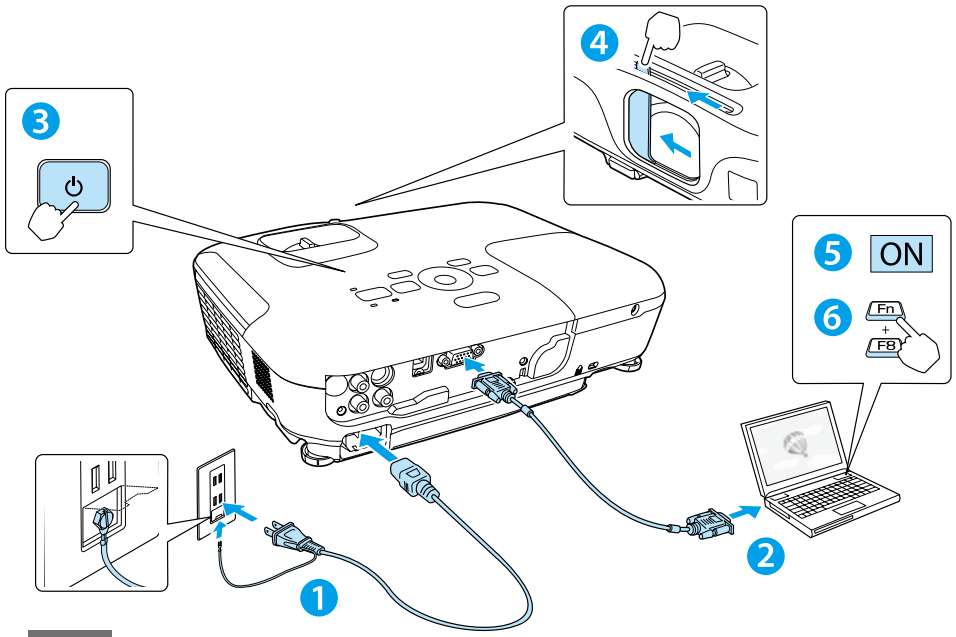
本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

Document CD-ROM 内のマニュアルの見方



PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

コンピューターと接続して投写する



警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。
- 必ず接地接続を行ってください。
  接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

はじめに、スクリーンに対してプロジェクターが平行になるように本機を設置します。

1. 本機とコンセントを電源ケーブルで接続します。
2. コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子をコンピューターケーブルで接続します。
3. 操作パネルの電源ボタン【⏻】を押して、本機の電源を入れます。
4. レンズカバーを開けます。
5. コンピューターの電源を入れます。
6. コンピューターの画面出力先を切り替えます。

   コンピューターの Fn キー（ファンクションキー）を押したまま、
   🖵/🖵 キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。

出力切り替えの例			
EPSON	Fn + F8	acer	Fn + F5
NEC	Fn + F3	Lenovo/IBM	Fn + F7
Panasonic		SONY	
HP	Fn + F4	DELL	Fn + F8
TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10

詳細は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧下さい。

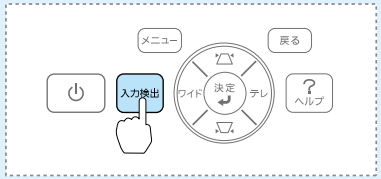
USB ケーブルで接続するときは

1. 本機で投写中に、操作パネルの【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを表示します。
2. ［拡張設定］の［USB Type B］が［USB Display］（初期設定）に設定されていることを確認します。
3. 市販の USB ケーブルで、コンピューターの USB 端子と本機の USB(TypeB) 端子を接続します。
4. 初めて接続したときは、自動的にドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従いインストールが完了したら、映像が投写されます。

USB ケーブルで接続すると、コンピューター画面の投写と同時に音声も再生できます。
詳細は、『取扱説明書』「USB ディスプレイで投写する」をご覧下さい。

? 映像が投写されないときは

操作パネルの【入力検出】ボタンを押します。



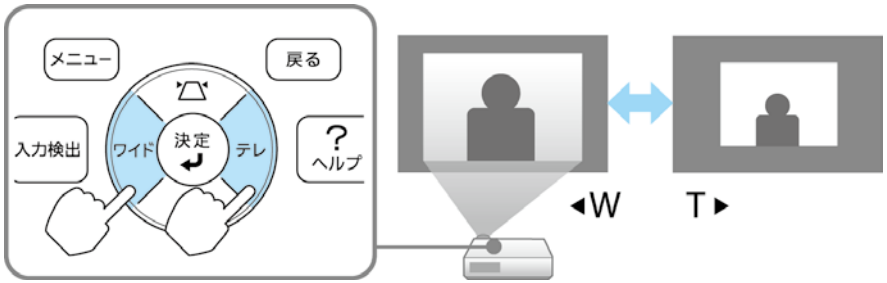
? 映像のサイズを変えたいときは
映像がぼやけるときは
映像が台形にゆがむときは

裏面をご覧ください

映像を補正する

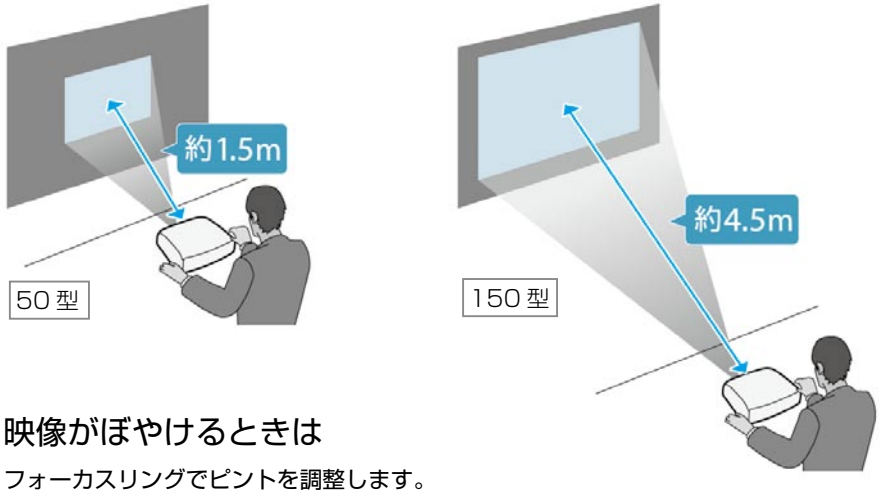
映像のサイズを変えたいときは

操作パネルの【ワイド】または【テレ】ボタンで調整します。



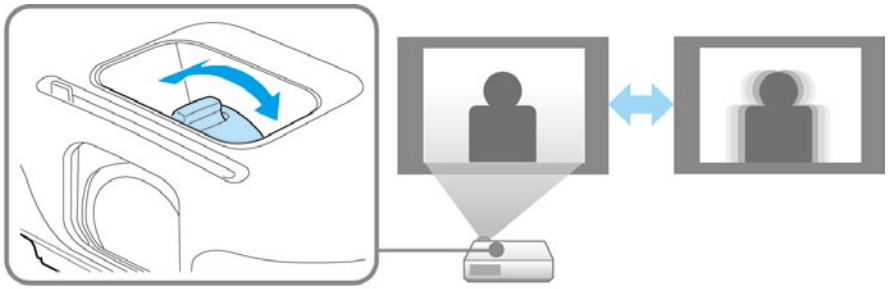
映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧下さい。



映像がぼやけるときは

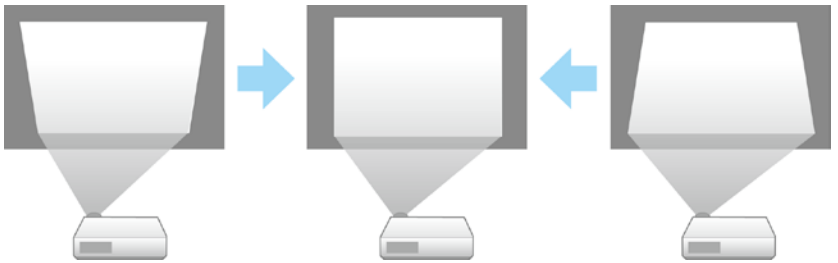
フォーカスリングでピントを調整します。



映像が台形にゆがむときは

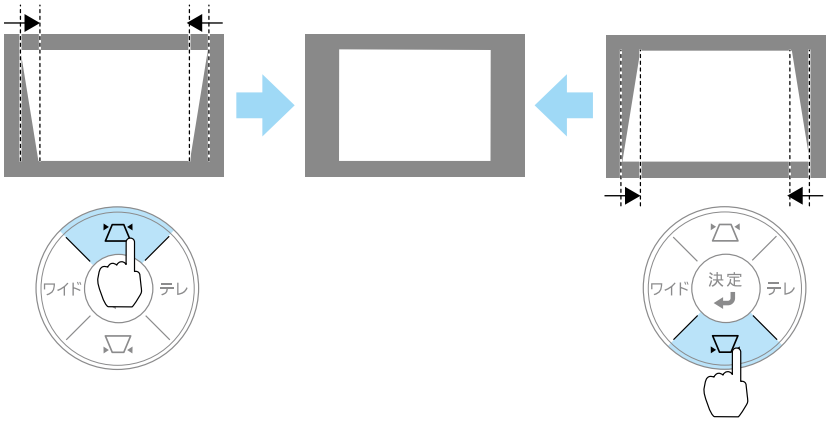
■ 自動台形補正

自動台形補正機能を使うと、投写映像のタテ方向の台形ゆがみを自動的に補正します。
本機能は環境設定メニューから設定を変更できます。（初期設定は［オン］です。）
操作パネルの【メニュー】ボタンを押して、[設定]-[自動台形補正] から [オン]/[オフ] を選択します。



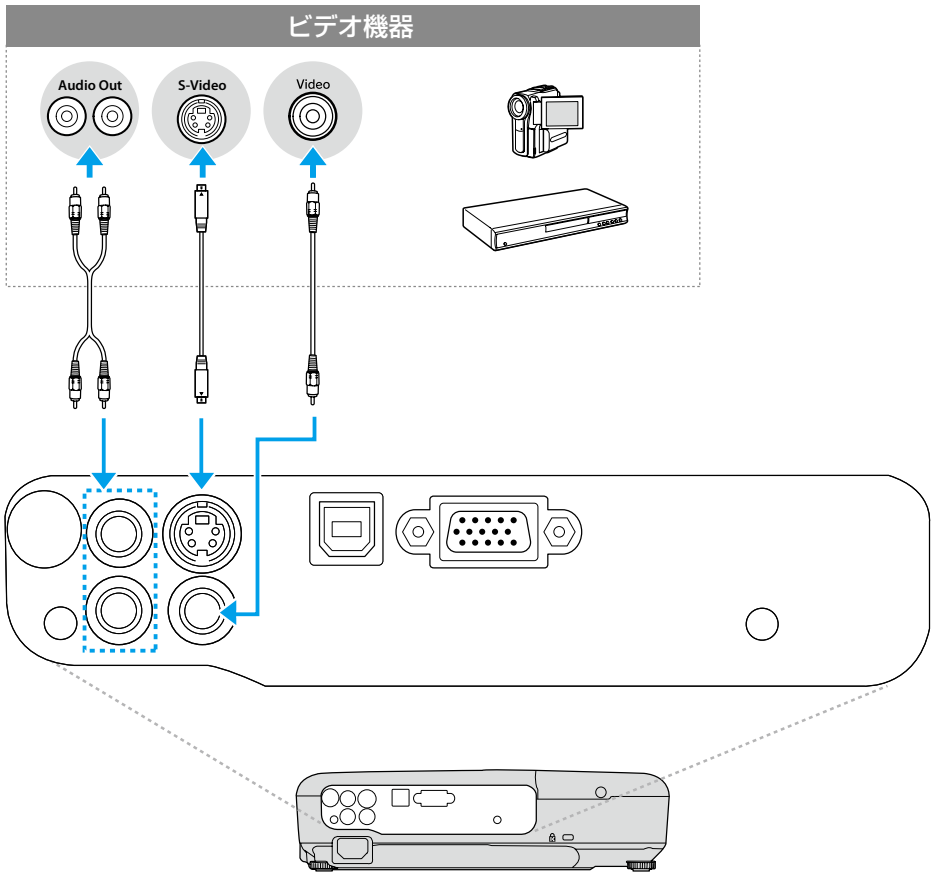
■ 手動タテ補正

操作パネルの【⏢】または【⏢】ボタンを押すと、投写映像のタテ方向の台形ゆがみを手動で補正できます。



映像機器と接続する

DVD プレイヤーや VHS ビデオなどの映像機器からの映像を投写するときは、下図のように接続します。



注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

インジケーターの見方

❏ 正常動作時の ⏻ インジケーターの状態

■：点灯　■：点滅　□：消灯

オレンジ ⏻	スタンバイ	⏻ を押すと投写を開始します。
緑 ⏻	ウォームアップ中	⏻ を押しても無効になります（約 30 秒）。
緑 ⏻	投写中	通常動作中です。

❏ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

赤 赤 赤 ⏻	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
赤 赤 ⏻	ファン異常 センサー異常	
赤 赤 ⏻	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	次の 2 点を確認してください。 ・壁際に設置しているときは場所を移動します。 ・エアフィルターの掃除または交換をします。
赤 オレンジ ⏻	高温警告	
赤 赤 ⏻	ランプ異常 / ランプ点灯失敗	次の 3 点を確認してください。 ・ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。 ・ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 ・エアフィルターを掃除します。
オレンジ ⏻	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
赤 赤 赤 ⏻	オートアイリス異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または以下に記載の連絡先に修理を依頼してください。

● インフォメーションセンター
050-3155-7010
製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00
（祝日、弊社指定日を除く）
※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

● サービスコールセンター
050-3155-8600
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 17:30（祝日、弊社指定日を除く）
※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

Copyright©2011 Seiko Epson Corporation. All rights reserved. Printed in China XX.XX.-XX(XXX)

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EPSON
EXCEED YOUR VISION

EB-S12

かんたん操作ガイド

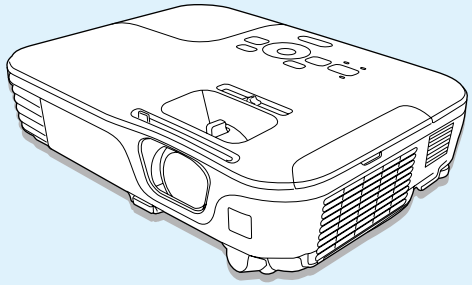
3LCD

本書では、本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を説明しています。

412107600

本書の流れ

- 同梱品を確認する
  本製品のマニュアルについて
- コンピューターと接続して投写する
- 映像を補正する
- さまざまな機器と接続する
- インジケーターの見方



同梱品を確認する

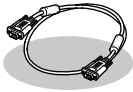
プロジェクター本体

リモコン

単３型マンガン電池

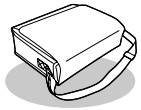
電源ケーブル
（日本国内専用）約 1.8m

コンピューターケーブル
約 1.8m



USB ケーブル
約 1.8m

ソフトキャリングケース



・お客様情報
＋正式保証書発行カード
・返信用封筒

本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。

冊子（紙）のマニュアル

『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。
お使いいただく前に必ずご覧ください。

『かんたん操作ガイド』（本書）

本機を使い始めるまでの準備、投写して映像を補正するまでの基本操作を記載しています。

より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

CD 収納のマニュアル

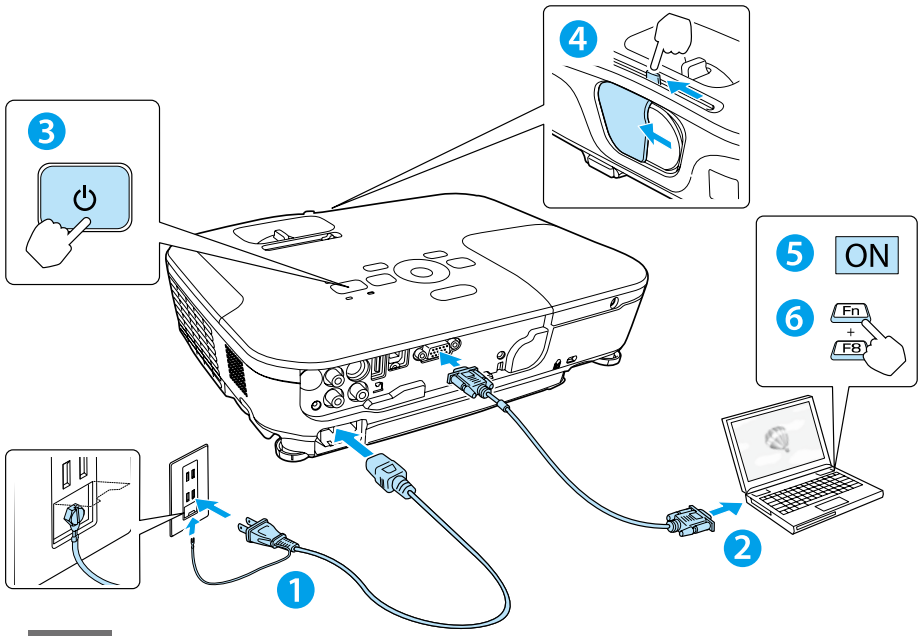
『取扱説明書』（PDF）

本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れ方法などを記載しています。

Document CD-ROM 内のマニュアルの見方

PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

コンピューターと接続して投写する



警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。
- 必ず接地接続を行ってください。
  接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

はじめに、スクリーンに対してプロジェクターが平行になるように本機を設置します。

1. 本機とコンセントを電源ケーブルで接続します。
2. コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子をコンピューターケーブルで接続します。
3. 操作パネルの電源ボタン【⏻】を押して、本機の電源を入れます。
4. レンズカバーを開けます。
5. コンピューターの電源を入れます。
6. コンピューターの画面出力先を切り替えます。

   コンピューターの Fn キー（ファンクションキー）を押したまま、
   ⊟/▭ キー（外部モニターを表すアイコン）を押します。

出力切り替えの例			
EPSON	Fn + F8	acer	Fn + F5
NEC	Fn + F3	Lenovo/IBM	Fn + F7
Panasonic		SONY	
HP	Fn + F4	DELL	Fn + F8
TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10

詳細は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧下さい。

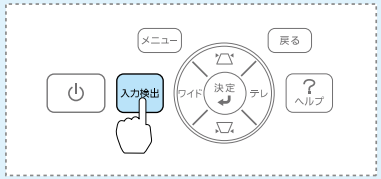
USB ケーブルで接続するときは

1. 本機で投写中に、操作パネルの【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを表示します。
2. ［拡張設定］の［USB Type B］が［USB Display］（初期設定）に設定されていることを確認します。
3. 同梱の USB ケーブルで、コンピューターの USB 端子と本機の USB(TypeB) 端子を接続します。
4. 初めて接続したときは、自動的にドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従いインストールが完了したら、映像が投写されます。

USB ケーブルで接続すると、コンピューター画面の投写と同時に音声も再生できます。
詳細は、『取扱説明書』「USB ディスプレイで投写する」をご覧下さい。

? 映像が投写されないときは

操作パネルの【入力検出】ボタンを押します。



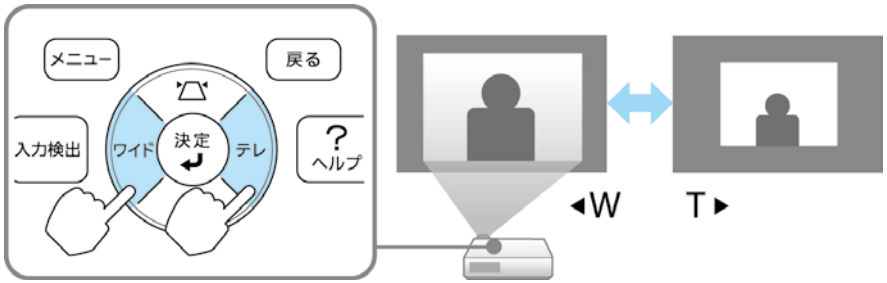
? 映像のサイズを変えたいときは
映像がぼやけるときは
映像が台形にゆがむときは

裏面をご覧ください

映像を補正する

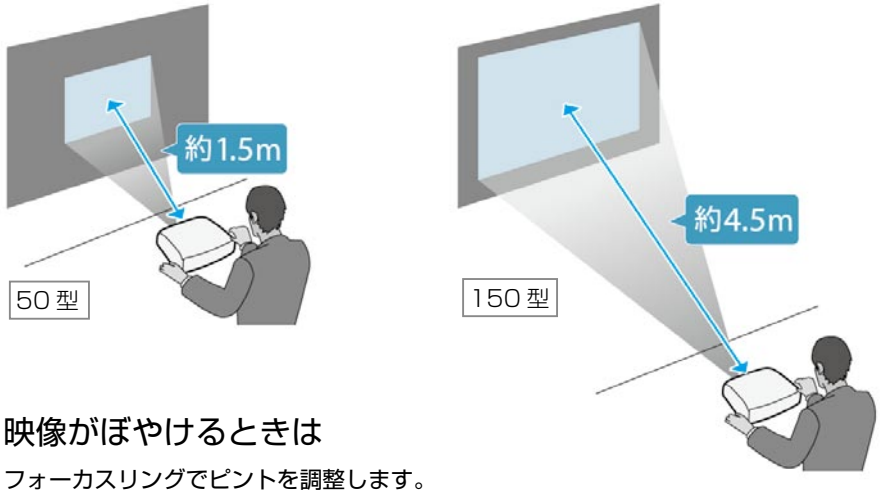
映像のサイズを変えたいときは

操作パネルの【ワイド】または【テレ】ボタンで調整します。



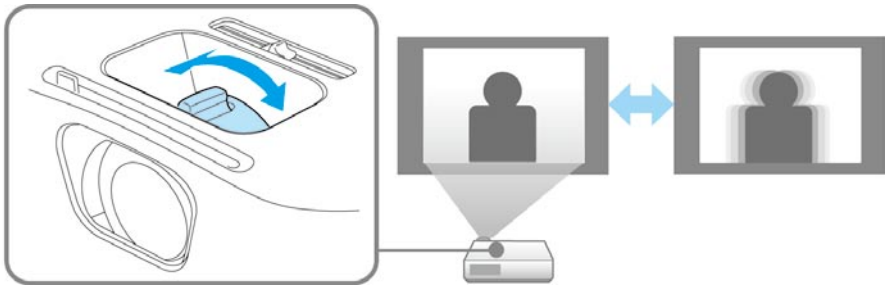
映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

スクリーンに近づけると小さく、スクリーンから遠ざけると大きくなります。
詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧下さい。



映像がぼやけるときは

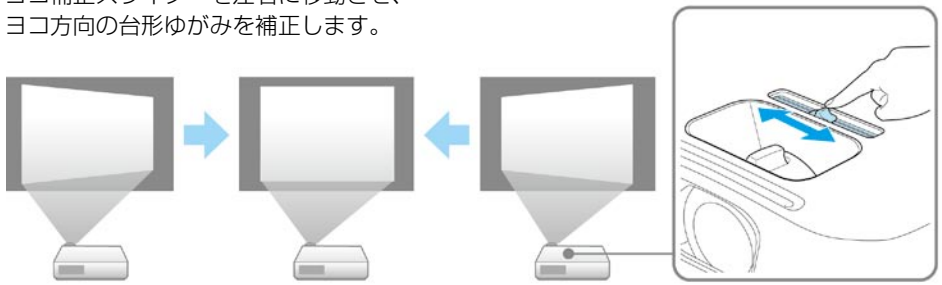
フォーカスリングでピントを調整します。



映像が台形にゆがむときは

■ ヨコ方向の台形ゆがみ

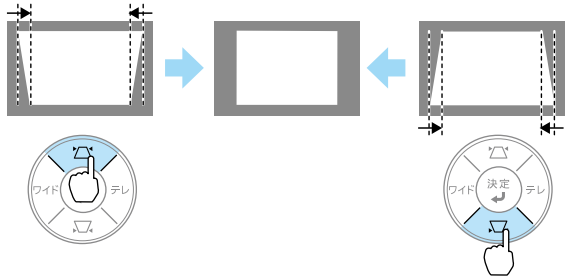
ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、
ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。



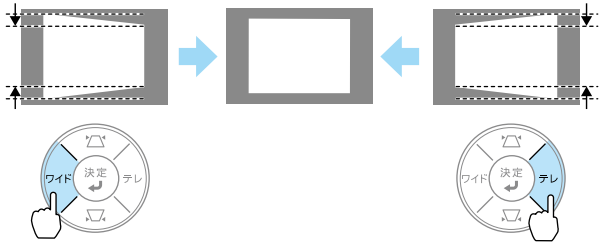
■ タテ・ヨコ方向の台形ゆがみ

台形補正画面を表示して、タテ方向・ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。
台形補正画面は、操作パネルの【⏢】または【⏢】ボタンを押すと表示されます。

タテ補正は【⏢】【⏢】
ボタンを押します。

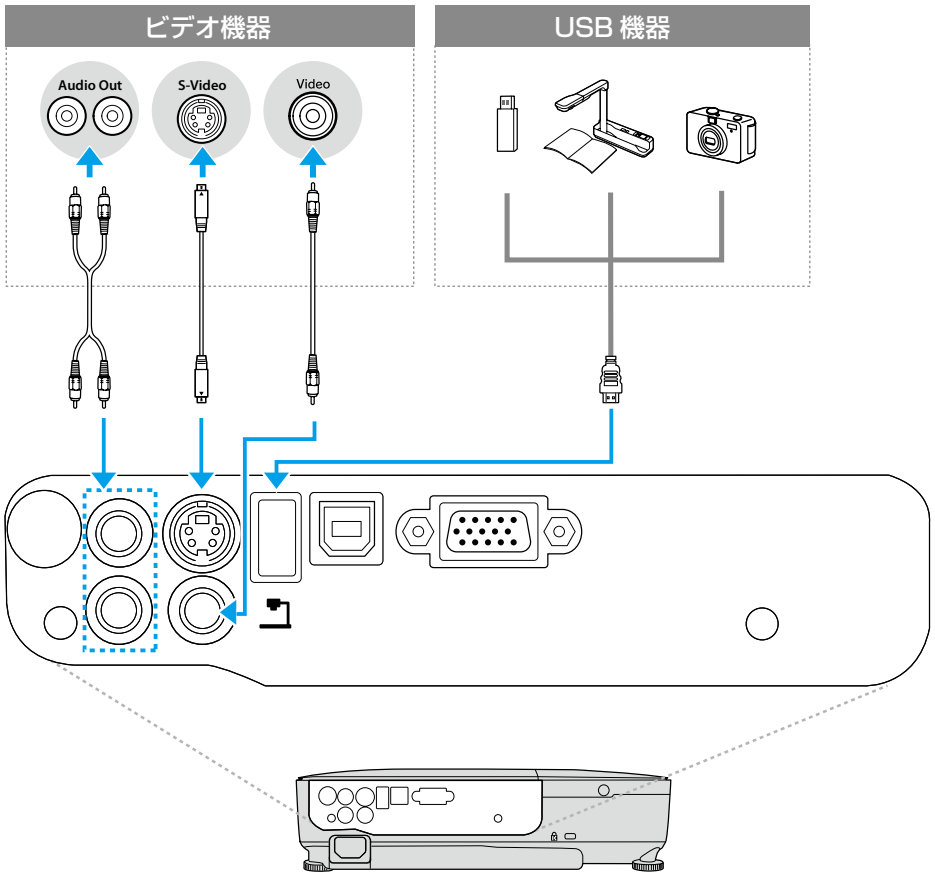


ヨコ補正は【ワイド】
【テレ】ボタンを押します。



さまざまな機器と接続する

DVD プレイヤーや VHS ビデオなどの映像機器、USB メモリーや書画カメラなどの USB 機器からの映像を投写するときは、下図のように接続します。



注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

インジケーターの見方

❑ 正常動作時の ⏻ インジケーターの状態

■：点灯　■：点滅　□：消灯

オレンジ ⏻	スタンバイ	⏻ を押すと投写を開始します。
緑 ⏻	ウォームアップ中	⏻ を押しても無効になります（約 30 秒）。
緑 ⏻	投写中	通常動作中です。

❑ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

赤 赤 赤 ⏻	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
赤 赤 ⏻	ファン異常 センサー異常	
赤 赤 ⏻	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	次の 2 点を確認してください。 ・壁際に設置しているときは場所を移動します。 ・エアフィルターの掃除または交換をします。
赤 オレンジ ⏻	高温警告	
赤 赤 ⏻	ランプ異常 / ランプ点灯失敗	次の 3 点を確認してください。 ・ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。 ・ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 ・エアフィルターを掃除します。
オレンジ ⏻	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
赤 赤 赤 ⏻	オートアイリス異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または以下に記載の連絡先に修理を依頼してください。

● インフォメーションセンター
050-3155-7010
製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00
（祝日、弊社指定日を除く）
※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

● サービスコールセンター
050-3155-8600
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
【受付時間】月～金曜日 9:00 ～ 17:30（祝日、弊社指定日を除く）
※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

Copyright©2011 Seiko Epson Corporation. All rights reserved. Printed in China XX.XX.-XX(XXX)

EPSON
EXCEED YOUR VISION

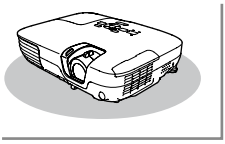
EB-W7
EB-X7
EB-S7
セットアップガイド

- 目次 -

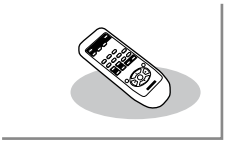
説明書の構成……2
設置しよう……3
USB ケーブルで接続して投写しよう ……4
コンピューターケーブルで接続して投写しよう ……6
ビデオ機器と接続して投写しよう……7
投写映像や音量を調整するには……8
インジケーターの見方…… 11
便利な機能…… 12

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

□プロジェクター本体

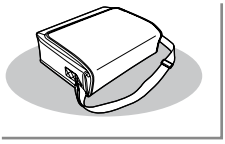


□リモコン

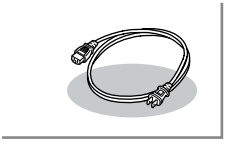


□単 3 型マンガン乾電池
(リモコン用)

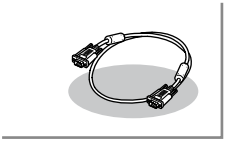
□ソフトキャリングケース



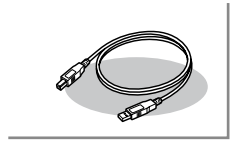
□電源ケーブル
(日本国内専用 約 1.8m)



□コンピューターケーブル
(約 1.8m)



□ USB ケーブル
(約 1.8m)



□パスワードプロテクト
シール※

※ お買い上げ時はパスワードが設定されていません。パスワードプロテクトの設定後、本体に貼付します。

ドキュメント類

□安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
□セットアップガイド (本書)　□ Document CD-ROM
□保証書

1 説明書の構成

本機には次の説明書が添付されています。以下の順番でお読みください。

本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

①

『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。本機をお使いいただく前に必ずご覧ください。

②

『セットアップガイド』(本書)

本機を使い始めるまでの準備 (同梱品の確認・設置・コンピューターやビデオ機器との接続) と投写開始時の基本操作について記載しています。

③

『取扱説明書』(Document CD-ROM)

便利な機能、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

※Document CD-ROM には、PDF 版の『セットアップガイド』も収録されています。

● Document CD-ROM 内の説明書の見方●

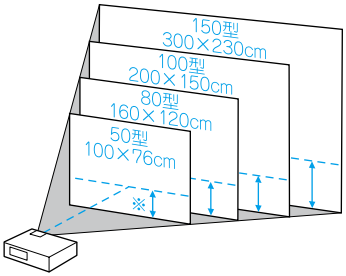
コンピューターの電源を入れ、CD-ROM ドライブに Document CD-ROM をセットします。

Document CD-ROM に収録されている PDF マニュアルのバージョンは PDF1.4 です。この PDF マニュアルをご覧いただくには Acrobat Reader5.0 以上または Adobe Reader が必要です。

2 設置しよう

スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。

本機のレンズからスクリーンまでの距離により映像のサイズが変わります。図中の値は最短投写距離の目安です。投写距離の詳細値 ☛『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」



下図の値は、ズームを最大にし、4:3 のスクリーンに投写するときの投写距離です。ズームの状態により値が変わります。
カッコ内の値はレンズ中心からスクリーン下端までの距離（※）です。

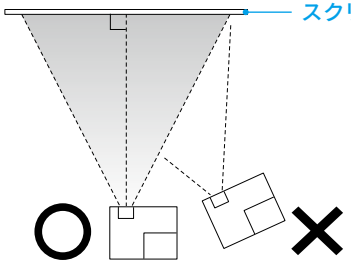
	50型	80型	100型	150型
EB-W7	158(11)	255(17)	319(22)	480(33)
EB-X7	150(8)	241(14)	302(17)	454(25)
EB-S7	147(8)	237(13)	297(17)	447(25)

注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機をスクリーンに対して平行に設置すると、最も投写映像が鮮明です。

上から見た図



注意

本機を縦置きや下向きの状態で投写しないでください。故障の原因となります。

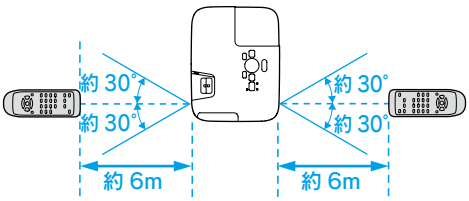
スクリーンに対して本機を斜めに設置すると映像が台形にゆがみます。

●リモコンの準備●

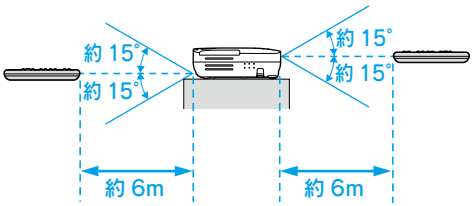
リモコンをお使いになる前に同梱の電池をセットしてください。

☛『取扱説明書』「リモコンの電池の交換方法」

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



3 USB ケーブルで接続して投写しよう

本機は同梱の USB ケーブルで Windows 搭載のコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能を USB ディスプレーと呼びます。手軽で簡単に使えるので内部の会議やプレゼンテーションに向いています。

USB ディスプレーは、以下の条件を満たすコンピューターで動作します。
OS：Windows 2000 SP4/Windows XP/Windows XP SP1 以降 /Windows Vista/Windows Vista SP1
CPU：Mobile Pentium Ⅲ 1.2GHz 以上 (推奨 Pentium M 1.6GHz 以上)
メモリー容量：256MB 以上 (推奨 512MB 以上)
ハードディスク空き容量：20MB 以上
ディスプレー：XGA(1024x768) 以上の解像度 16 ビットカラー以上の表示色 約 32000 色の表示色

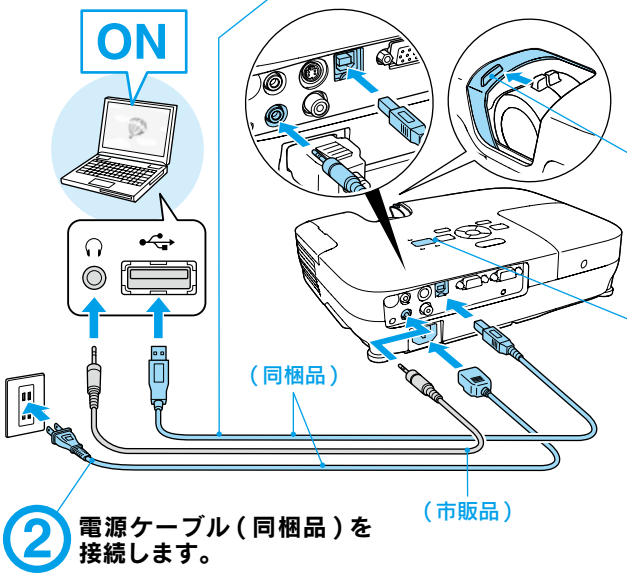
●接続のしかた●

① コンピューターの電源を入れます。

⑤ 最後に USB ケーブルを接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときはオーディオケーブル (市販品) を音声入力端子に接続します。

注意 USB ハブを経由した接続ではなく、直接本機とコンピューターを接続してください。



② 電源ケーブル (同梱品) を接続します。

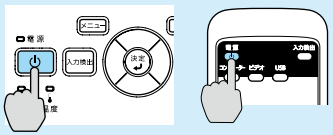
④ レンズカバーを開けます。

投写中はレンズをのぞかないでください。

③ 本機の電源を入れます。

ピッ

操作パネルの場合 / リモコンの場合



●終了のしかた●

USB ディスプレーを終了するときは、USB ケーブルをプロジェクターから抜きます。
コンピューターで「外部デバイスの取り外し」を行う必要はありません。

■初めて接続したとき

自動的にドライバーのインストールを開始します。

コンピューター画面

※ インストールには管理者権限が必要です。

※ Windows 2000 搭載のコンピューターをお使いのときは、コンピューターで「マイコンピュータ」-「EPSON_PJ_UD」-「EMP_UDSE.exe」をダブルクリックしてください。

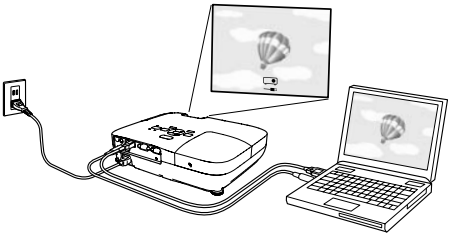
使用許諾契約書のダイアログが出ますので必ず「同意する」を選択します。

※ インストールを行わないと USB ディスプレーを実行できません。万一、インストールを中止するときに限り「同意しない」を選択してください。

■ 2 回目以降

コンピューターの映像が投写されます。

※ 投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままの状態で映像が投写されるまでお待ちください。



万一、投写されないときには
「すべてのプログラム」-「EPSON Projector」-「EPSON USB Display」-「EPSON USB Display Vx.x」をクリックします。

自動的にインストールされないときには
「マイコンピュータ」-「EPSON_PJ_UD」-「EMP_UDSE.EXE」をダブルクリックします。

コンピューター画面に表示されているマウスカーソルがちらつくときには
「すべてのプログラム」-「EPSON Projector」-「EPSON USB Display」-「EPSON USB Display Vx.x の設定」で、レイヤードウインドウの転送のチェックボックスを外します。

Windows 2000 でエラーメッセージが表示されるとき
Windows 2000 搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、インストール時に Windows のエラーメッセージが表示されインストールできないことがあります。この場合は、Windows をアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。

ドライバーをアンインストールするには
「スタートメニュー」-「コントロールパネル」-「プログラムの追加と削除」を行います。

DirectX の一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。

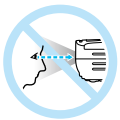
4 コンピューターケーブルで接続して投写しよう

① 電源ケーブルを接続します。

⑥ 映像信号の出力先を切り替えます。
例：エプソンの場合は Fn + F8

⑤ レンズカバーを開けます。

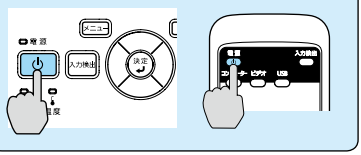
投写中はレンズをのぞかないでください。

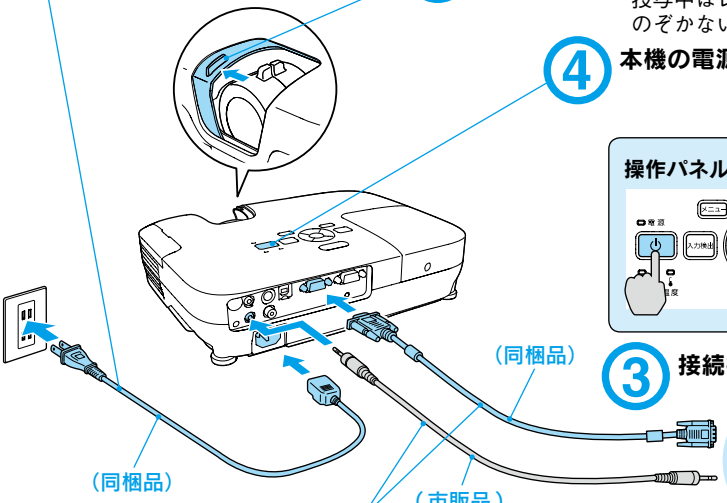


④ 本機の電源を入れます。

ピッ

操作パネルの場合　リモコンの場合





（同梱品）

③ 接続機器の電源を入れます。

ON

（同梱品）

（市販品）

② コンピューターケーブルを接続します。音声を出力するときはオーディオケーブルも接続します。

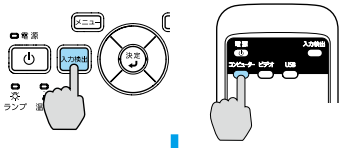
●映像が投写されないとき●

■ノートタイプや液晶一体型コンピューターの場合

▶スクリーン左下に「コンピューター」以外の入力ソースが表示されている場合

入力ソースをコンピューターに切り替えます。

操作パネルの場合　リモコンの場合



それでも投写されないときは

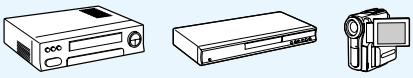
▶スクリーン左下に「コンピューター」と表示されている場合

コンピューター側で映像信号の出力先を切り替えます。☛コンピューターの『取扱説明書』

切り替え後、しばらくすると投写されます。

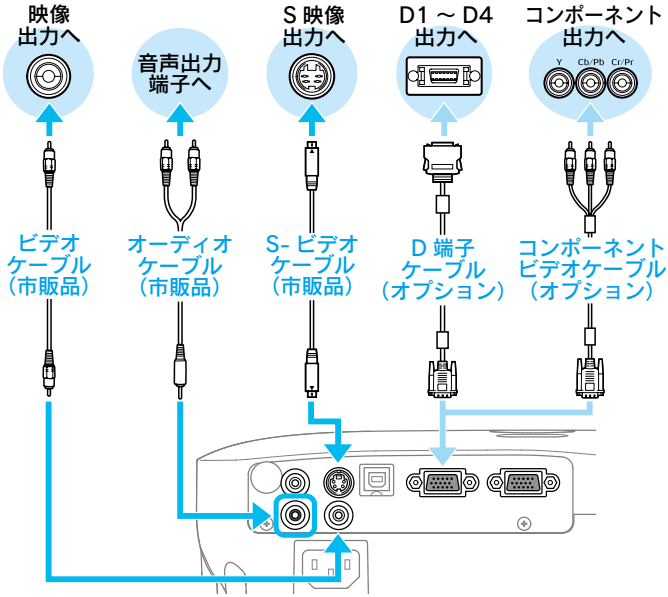
出力切り替えの一例			
エプソン	Fn + F8	東芝	Fn + F5
NEC	Fn + F3	lenovo/IBM	Fn + F7
松下		SONY	
SOTEC		DELL	Fn + F8
HP	Fn + F4	富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレーの検出を行う。OSによっては、F7で切り替えることができます。		

5 ビデオ機器と接続して投写しよう



DVD プレーヤー、VHS ビデオ、BS チューナー、CS チューナー、RGB コンバーター、ビデオ分配器等

※接続機器側の端子名の表記は、各機器によって異なることがあります。



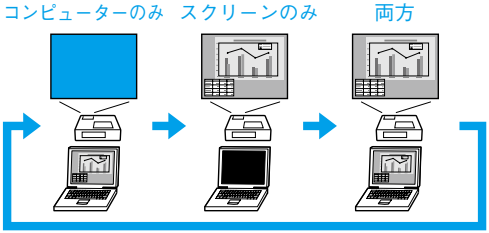
注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

ポイント

- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続します。
- 市販の 2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

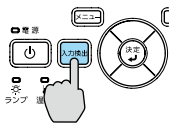
コンピューターによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。



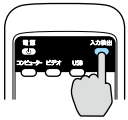
■ビデオ機器の場合

ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから 入力検出 を押します。

操作パネルの場合



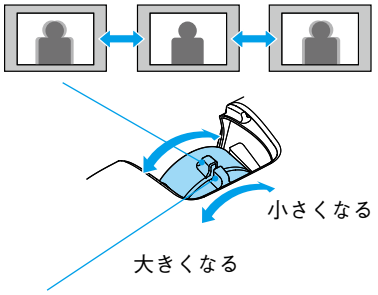
リモコンの場合



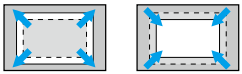
6 投写映像や音量を調整するには

EB-W7/X7 の場合

■ピント (フォーカス) 調整

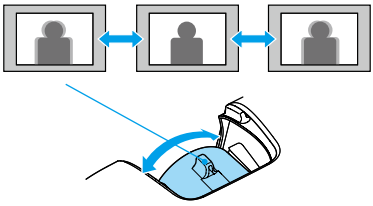


■ズーム調整

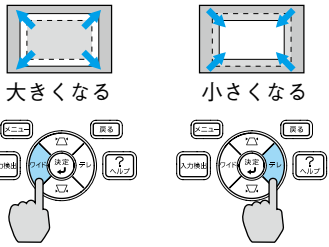


EB-S7 の場合

■ピント (フォーカス) 調整



■ズーム調整

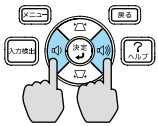


■音量調整

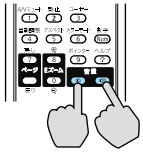
本体操作パネル (EB-W7/X7 のみ)、またはリモコンの 側を押すと音量が上がり、 側を押すと下がります。音量は環境設定メニューでも調整できます。

☛『取扱説明書』「設定メニュー」

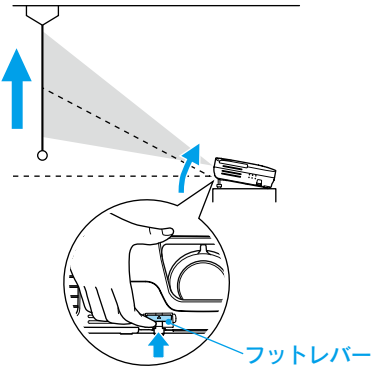
操作パネルの場合 (EB-W7/X7 のみ)



リモコンの場合



■画像の位置調整



フットレバーを押すとフロントフットで調節できます。上方向に最大 12° まで傾けられます。

※ 傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

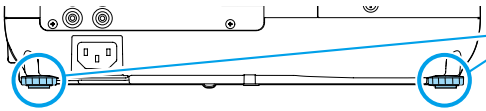
注意 持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。

■映像のゆがみの解消

本機を傾けると映像が水平方向に傾斜したり台形状にゆがみます。

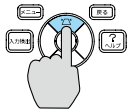
水平傾斜の調整

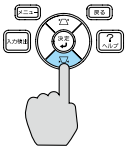
机上設置のときは、リアフットで本機の水平方向の傾きを調整します。



注意 **持ち運ぶときにはリアフットを必ず収納してください。**

タテ方向の台形補正





※台形補正後は画面サイズが小さくなります。

※本機の上下方向の傾斜角度が約 30°までであれば補正できます。

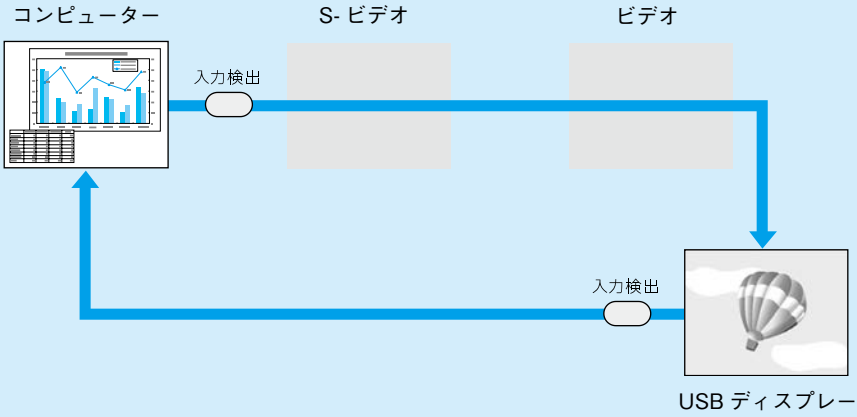
ポイント

- **本機は上下の傾きを自動で検出して映像の台形のゆがみを補正します。**
- **台形補正は環境設定メニューでも調整できます。**

☛『取扱説明書』「設定メニュー」

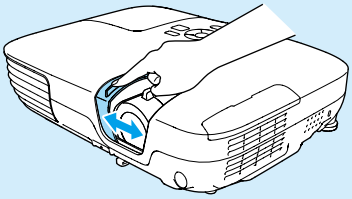
●別の機器の映像に切り替えるには●

本体の操作パネルまたはリモコンの 入力検出 で切り替えます。



映像信号が入力されていない入力端子は飛び越します。

●レンズカバーの便利な機能●



ポイント

- 投写中にレンズカバーを閉めると、映像と音声を消すことができます（A/V ミュート）。
- レンズカバーを閉じた状態が約 30 分続くと、レンズカバータイマーが機能し、自動的に電源がオフになります。
  ☛『取扱説明書』「拡張設定メニュー」

●電源を切り終了する●

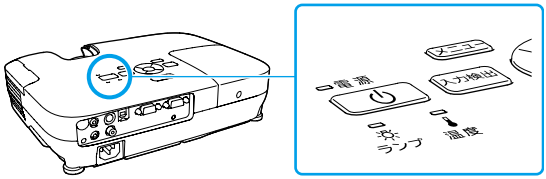
① 接続している機器の電源を切ります。
② リモコンまたは操作パネルの ⏻ を２回押します。
③「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。

※終了後すぐに電源を入れ直したときは、投写までの時間が通常より長くなります。

ポイント

ダイレクトシャットダウンに対応していますので、会議室など電源を集中管理している場所では、⏻ を押さずに電源ケーブルを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ってもかまいません。

7 インジケーターの見方



インジケーターの見方の詳細や、インジケーターを見てもトラブルの原因がわからないときは ☛『取扱説明書』「故障かなと思ったら」

：点灯
：点滅
：消灯

■ 正常動作時の ⏻ インジケーターの状態

オレンジ ⏻	**スタンバイ** ⏻ を押すと投写を開始します。
緑 ⏻	**ウォームアップ中** ⏻ を押しても無効になります (約 30 秒)。
緑 ⏻	**投写中** 通常動作中です。

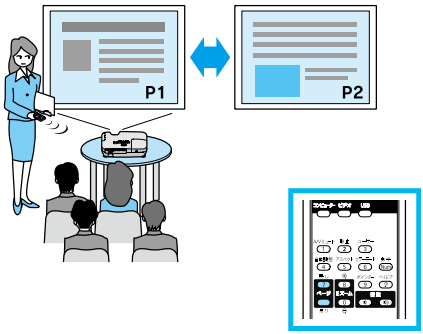
■ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

赤 赤 赤 ⏻	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
赤 赤 ⏻	ファン異常 センサー異常	
赤 赤 ⏻	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	**次の 2 点を確認してください。** • 壁際に設置しているときは場所を移動します。 • エアフィルターの掃除または交換をします。
赤 オレンジ ⏻	高温警告	
赤 赤 ⏻	ランプ異常 / ランプ点灯失敗	**次の 2 点を確認してください。** • ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または下記の連絡先にご相談ください。 • エアフィルターを掃除します。
オレンジ ⏻	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
赤 赤 赤 ⏻	オートアイリス異常 電源系異常 (バラスト)	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

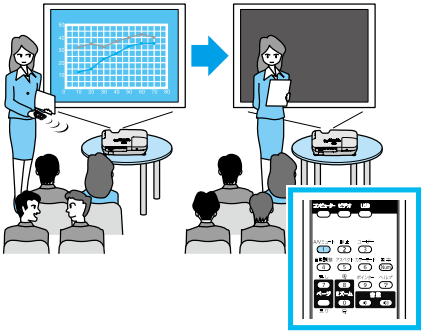
※上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。

8 便利な機能

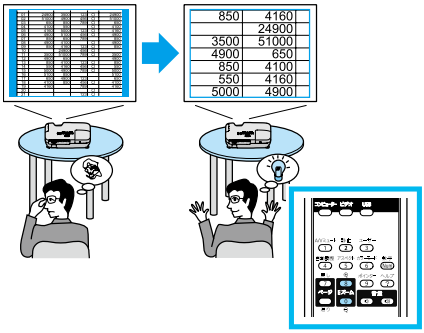
ページ Up/down(PowerPoint のスライドショー実行時)



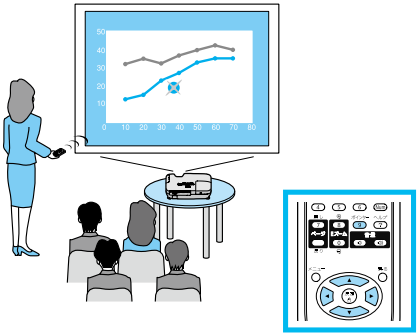
A/V ミュート



E ズーム



ポインター



便利な機能を搭載しています。詳細は ☛『取扱説明書』

411734700

C77571000

Printed in China
XX.XX-XA(G04)